小野市立図書館だより



2022年7月15日

発行:小野市立図書館 小野市中島町 64

夏季休業を前に、小野市立図書館の職員が、中学生の皆さんにぜひ読んでほしいおすすめの本をご紹介します。夏の読 書の参考にしてください。この夏は、新たな本との出会いを楽しんでみませんか。

また、夏季休業期間中は、図書館 2 階の自習室を毎日開放しています。ぜひ気軽に図書館をご利用ください。

おすすめの 1 冊



『車輪の下』

著者: ヘルマン・ヘッセ

出版社:新潮社

子どもの心を理解しない

大人を批判するお話です。みなさん もうなずくことも多いと思いますの で、ぜひ読んでみてください。



『ぼくの・稲荷山戦記』

著者:たつみや章

出版社:講談社

作者の子供時代の体験を

もとにした物語です。人とおキツネ様と の友情を描くファンタジーと、都市開発 から自然を守るリアルな部分のバラン スが絶妙なお話です。



『夏の庭 The Friends』

著者:湯本香樹実

出版社:福武書店

「死んだ人を見てみたい」 という好奇心から始まる小学生3人組 の夏休みの話。"死"という重いテーマだ けど、暗さはなく、さわやかにストーリ -が進み、夏に読むのにぴったりです。



『永遠の0』

著者:百田尚樹

出版社: 双葉社

戦場の臨場感あふれるシ

ーンがたくさんあり、読んでいてワクワ クします。史実に基づいているので勉強 にもなり、読み応えのある一冊です。



『ホームレス中学生』

著者:田村裕

出版社:ワニブックス

人気お笑いコンビ『麒麟』

の田村裕が自身の中学生時代からの出 来事を綴った自伝小説です。お金で買え ない価値を知ることができる一冊です。



『舟を編む』

著者:三浦しをん

出版社:光文社

出版社で辞書を編纂する

人々を描いた物語です。登場人物たちの 辞書づくりに対する情熱が伝わってき て胸を打たれます。



『羊と鋼の森』

著者: 宮下奈都

出版社:文藝春秋

何かにチャレンジしたい

と考えている中学生や自分の進路につ いて悩んでいる中学生にぜひ読んでほ しい一冊です。



『水族館ガール』

著者:木宮条太郎

『ななみの海』

出版社:双葉社

不信感、友人との関わり…。これから進

路を考える中学生にもぜひ読んでもら

著者:朝比奈あすか

出版社: 実業之日本社

🧱 突然水族館で働くことに

なった主人公が、たくさんの失敗や挫折 を繰り返しながらも、決してあきらめる ことなく頑張る姿から勇気や希望がも

らえます

ナナナの

いたいです。

海



『あと少し、もう少し』

著者:瀬尾まいこ

出版社:新潮社

部活動をしている中学生

みんなに読んでほしいさわやかなスポ -ツ系青春物語です。中学最後の駅伝に 臨む彼らの姿に胸が熱くなります。



『トンネルの向こうに』

著者:マイケル・モーバーゴ

出版社:小学館

戦争の話なので、今のウク

ライナ情勢と結び付けて感想文が書き やすいのでは。ストーリーは少し重いの ですが、短めで読みやすいです。



『だから僕は大人になれない』

著者: ぺいんと

出版社: KADOKAWA

YouTuber という職業が当 たり前になった時代の人気 YouTuber『日 常組』のメンバーの一人・ぺいんとさん のエッセイです。YouTuber の世界をのぞ くのにぴったりで、サクッと読めます。



『そして、バトンは渡された』

著者:瀬尾まいこ

出版社:文藝春秋

改めて家族の在り方につ

いて考えることができる本です。主人公 「優子」の周りの人たちがとにかく優し くて、温かい気持ちになります。



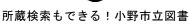
『世界がもし 100 人の村だったら』

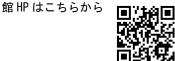
著者:池田香代子

出版社:マガジンハウス

世界の国々のいろいろな

事実や状況を知り、自分の住んでいる国 の様子を見直してみる機会になる一冊 です





【開館時間】 10:00~18:00 【7・8月の休館日】7/26、8/20、21